

人材開発の現状

～必要な能力と環境変化など～

就職戦線たけなわであるが、需要サイドの企業経営層ヒアリングでは、質量ともに「人材不足」という声が聞かれる。社業の基礎は人材であることは今も昔も変わらない。日本の企業は優秀な人材をいかに新卒で囲い込むかが勝負だった。そして就業後は安定した社会や経済背景の下、終身雇用や年功序列によってOJTを中心に自社で発揮できる固有の能力開発を進めてきた。

しかし、時代は大きく変化している。供給サイドの大学や学生側は、終身雇用や高学歴優遇をあまりあてにせず、卒業後のキャリア形成において「自らの実力や価値を如何に向上させていくか」を重視し、そうしたフィールドとしての企業の人材対応の有り方を注視し始めている。

講師の藤沢氏は、こうした認識のギャップやミスマッチが、冒頭の質量ともに「人材不足」という声につながっているのではないかと指摘する。同氏は地域に新卒人材を送り出す大学教育の現状を調査する中で、時代や環境の変化に積極的に対応している大学や学生側に対し、企業内での人材開発の在り方や根底にある人材戦略が時代の変化に対応できていないのではないかと警鐘を鳴らす。その最も脅威のシナリオは採用出来ない、折角採用した優秀な人間が残らないというものだ。

本セミナーでは、AIがもたらす機械への代替、コロナ禍におけるリモートワークの広がり、労働者から見た働き方改革、大学教育の現場などの観点から、地域の産業界に求められる人材開発の有り方を提唱する。

2022年 3月 17日(木) 「zoom」を使ったライブ配信

12:00～13:00 (Zoom接続開始11:45～) 定員：先着70名

セミナー内容

1. 「人材不足」は本当か
2. 求められる能力の変化
3. 変わるゲームのルール
4. 本当に必要とされる人材
5. 労使の考え方のミスマッチ
6. 副業・複業がもたらすもの

講師

一般財団法人北陸経済研究所
調査研究部 担当部長

藤沢 和弘氏

昭和62年3月 大阪府立大学経済学部卒業。同年4月 北陸銀行入行
平成24年1月 北陸経済研究所へ出向、調査研究部産業調査グループ主任研究員
平成28年7月より現職。
平成29年 第4回地方シンクタンク協議会論文アワード最優秀総務大臣賞
単著「北陸新幹線レポリビューション」(平成27年8月交通新聞社)、共著「北陸主要10業種の現状と展望」(平成28年4月能登印刷出版部)
TV、新聞、雑誌等メディアへの出演も多数あり、平成27年にNHKニュース解説「視点・論点」にも出演。



申込方法

富山県人材活躍推進センターHPの申込みURLからお申込みください。
申込締切は開催日の2日前となります。

視聴方法

- ①セミナーは「Zoom」を使ったオンラインライブ配信のみで開催します。
- ②事前に「Zoom」ソフトウェアの最新版をインストールしてください。